ふかまちのまど

第二二四号　一三年一月一日
発行元　深町連合町内会
連絡先　〒六三一―三八八二

年頭のご挨拶

連合町内会長　麓正徳

新年明けましておめでとうございます。町内の皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中には連合町内会行事活動に多大なご協力ご支援を頂き、役員一同心より感謝申し上げます。

二十四年には過ぎ行く忘れた十年が経つ頃に、町内にも災害が起きているようです。お互いに気をつけ助け合いましょう。

今期の行事活動は体育部のビーチボールバレー大会、町内全体の河川清掃を残すのみとなりました。

また、本年は連合町内会他の役員改選の年であります。町内の皆様のご協力とご理解を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ年頭のご挨拶とします。

▲▲

深小PTAだより

新春ふれあい広場について

PTA会長　寺田　達哉

新年あけましておめでとうございます。昨年は、PTA活動への多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。今年も昨年同様、よろしくお願い申し上げます。

さて、来る一月二十七日、毎年恒例の「新春ふれあい広場」を開催いたします。もちつきやとんどの準備につきましては、たくさんの地域の皆様にご協力をいただき、感謝申し上げます。

当日は、とんどの灰が飛び、近隣の方々にはご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

今年も、皆様にとって良い一年でありますよう、お祈り申し上げます。

▲▲

深町子ども を守る会

子どもをみんなで守りましょう

深小の子供は

○午後四時頃下校します。
※日によって、異なることがあります。
○近くで、遠くで、みんなで見守りましょう。
○あいさつ、声かけをしましょう。

深小だより

アップとルーズで一年を

深小学校長　平岡　茂樹

謹賀新年。旧年中、深小学校に対しまして多くのお力添えをいただきましたことに深く感謝申し上げます。

さて、四年生の国語教科書に、「アップとルーズで伝える」という説明文教材があります。サッカーのテレビ中継を例にしながら、相手の物事を伝えていく手法としての、アップ（近づいて被写体を映したもの）とルーズ（遠くから全体の映像を撮ったもの）の使われ方とその利点を対比しながら読み取っていく教材です。

筆者はさまざまな状況を説明した後、「このようにアップとルーズには、伝えられることと伝えられないことがあり、目的に応じて切り替えているのです。」とまとめ、物事や状況をより正しく判断し方向付けていくための、情報提供と認識の仕方を示しています。

この一年、子供たちのことを中心に、近くにも遠くにも目配り・心配りをしながら、過ごしていくことができればと思っています。

地域・保護者の皆様、本年もどうかよろしくお願いいたします。

▲▲

深の里ぴよぴよハウスのご案内

一月の深の里ぴよぴよハウスは、地域の方々と一緒に新春ふれあい広場を開催します。
おおきなとんどがあるよ！もちつきが体験できるよ！きたてのおもちはおいしいよ！バザーもあるよ！
ご家族みなさんでおいでください。

「ついて、、、丸めて、おもちつき！（新春ふれあい広場）」

日時　一月二十七日（日）
九時三十分集合
場所　深小学校運動場
（受付　深幼稚園）
持参物　エプロン・三角布
マスク

お問い合わせ先　深幼稚園
六七―七三三八

▲▲

「ふかまちのまど」　ホームページのアドレスは
http：//www. jcat. ne. jp /~fuka/top. html

短歌・俳句・詩

中組　仲峠講　竹内ひろみつ

新しき年を迎へて初日の出
　拝む両手で幸を掴まん

病むことの無きを願いて友々に
　賀状送らん気持ちを込めて

山陰の蟹を喰わんと旅行けば
　凍みる道路よ雪降りしきり

TBG協会だより

第二十回岡山市ターゲット・バードゴルフ大会

第二十回岡山市TBG例会が十一月十八日（日）に岡山市南区藤田リバーサイド・コースにて兵庫県・島根県・徳島県などから一三〇名余りの選手が参加して行われました。

三原TBG協会からは高崎修・吉川道一・平岡博司・天木雅之の四名が参加しましたが、上位入賞はなりませんでした。

第一回公認コース認定記念全国ターゲット・バードゴルフ大会

第一回認定記念TBG大会が世羅郡世羅町小谷コースにて全国十三都府県より、東は東京都、西は沖縄より一五〇名余りの選手で盛大に行われました。

三原TBG協会からは高崎修・林洋祐・谷岡義昭・志水孝則・石井張司・綱掛正志・吉川道一・金子勝彦・平岡博司・天木雅之の一〇名が参加しました。

上位入賞はならず、全国の高いレベルに驚きました。三原TBG協会も全国に通用できるようにレベルアップに努めたいと思います。

※選手の敬称略

TBG事務局天木雅之

▲▲

ピッコロだより

（多機能型就労支援事業所）

春物の準備も着々と

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

ピッコロも七年目の春を利用者・職員・皆元気で迎えております。ハウスの中も春物の準備も着々と進んでおり、苗の方も順調に生長しています。

ピッコロで栽培した苗は、福山・岡山の市場へ出荷、JA三原・本郷にも出荷をしています。もちろん深町のピッコロでも販売しております。

今年からは三原の道の駅「神明の里」に『風水だるま』を出店しています。色々な所に足を運んでみて下さい。

▲▲

深町各種団体一月行事予定

◆連合町内会
▼ビーチボールバレー大会二十日
◆下組町内会
▼総仏法要　十三日
◆消防団
▼出初式　六日
◆小学校・幼稚園
▼始業式・学区児童会・PTA役員会　七日
▼誕生会㈭　十一日
▼租税教室　十五日
▼標準学力調査・放課後子ども教室　十六日
▼持久走大会・参観日㈭　十七日
▼クラブ活動　二三日
▼新春ふれあい広場　二七日
▼冬季学園　三十～三一日
▼給食試食会㈭　三一日
◆如水館中学・高校
▼中学入試　六日
▼始業式　七日
▼高校入試　二一日

中組町内会新規入会者紹介

瀬尾　豊　様　（仲城講）

展望席

初日の出、何故こんなにも感動するのでしょうか。凡人の私は、太陽は毎日出ているのに、普段は特別の感動はもちません。太陽のお陰であらゆる生命が育まれていますが、太陽が出ているのが当たり前で、有り難いことだと感謝することも忘れています。

少し考えてみると、自然界でも日常生活でも身近にも有り難いことがたくさんあるのですが、ほとんどが当たり前になっていて、不満に思うことも少なからずあるものです。

人の体から色々なものが出てきます。最も大事な、大きな便りや小さな便りが出るのは日頃当たり前と思っていますが、これが出ないと不安が募り、体調も悪くなります。これが解消すると気分もスッキリ、初めて感謝の気持ちが湧いてきます。

食事をするとき、食べ物を良く噛めば唾液がしっかり出て消化を助け、パロチンというホルモンの分泌も良くなり免疫も高まるようです。悲しいとき、感動したときは涙が出てきますし、良く運動し良く働けば汗が出てきます。そうして体調もすぐれて気持ちも晴れてきます。

日本には億万長者が約一三六万人いると、二、三年前にラジオで聞いたことがあります。これから類推すると、深町には十数名の億万長者がおられることになります。今年は体から出るものはしっかり出して体調を良くしたいと思いますが、お金持の方にはしっかりお金を放出して頂ければ日本の景気も良くなるかもしれません。

医王山田屋城主 石原氏について③

上組　紙谷謹二

その後寺沢さんから、九月、十月に石原氏に関する手紙と史料を頂きました。その文面は次の通りです（一部省略）。

お送り頂いた資料のうち、「深郷土誌」一〇四頁の「萩藩家譜録」が小生が探していた史料でした。「ふかまちのまど」はこれを使って書かれたものだと思います。

毛利家家臣の「譜録」は現在、山口県立文書館にあり、石原九衛門信富のものもあります。いずれは原本を調査する予定です。この「譜録」の記事の特徴は以下三点です。

一、村上・磯兼など因島村上水軍の氏族との姻戚関係が深いこと。太郎左衛門が晩年を過ごした三田尻は江戸時代に毛利氏の船手がいて、そこにいた村上・磯兼などの親族に身を寄せていた可能性が高い。

二、石原太郎左衛門が毛利家に仕えた理由を広国院に仕えたからとしているが、広国院は毛利家から松平光長に嫁にいだ女性である。広国院の没後に松平光長が越後で改易された動で改易された平光長が越後騒動で石原が縁故を頼って萩に来たので、広国院が生前に石原を伴ってか、広国院のこの点が明確でない。

三、太郎左衛門の子の八兵衛は寺沢家臣の史料に見え、八兵衛が仕えた岸和田の岡部家は寺沢兵庫頭堅高の妻の実家である。以上のことを踏まえると、石原氏は杉原氏の配下の土豪ではなく、村上水軍の一員として小早川隆景の家臣になったことになります。原氏が家老並が、「下関市史」で石原氏の地位にあることと符合します。

小早川隆景公銅像

【史料】「小早川隆景公御家中名有侍付立」『下関市史』資料Ⅰ（平成五年三月発行）四一一頁。なお、字体は通用のものに改めた。

「豊浦藩旧記　第二十七冊」
小早川隆景公御家中名有侍付立
承応二年稲葉泰応様（竜沢公御後見）ヨリ被遣
小早川氏家中（有名士分）書上写　豊浦
小早川隆景公御家中名有侍付立
公儀ヱ御書出シノ分
家老
椋梨治部少輔　乃美三河守
三浦兵部少輔　椋梨民部少輔
梨羽刑部少輔　小田出雲守
徳光駿河守　船木下総守
土倉備中守　上山安芸守
佐竹遠江守　船木左京之進
家近備前守　能良摂津守
小泉若狭守
家老並
村上八郎右衛門　小泉式部少
草井越中守　粟掛河内守
竹田神右衛門　石原太郎左衛門
池上七左衛門　井上又右衛門
侍大将（以下略）

（次号へつづく）▲▲

歩く会にご参加を

健康づくり推進員　高崎修

糸崎港周辺探訪

期日　一月十八日（金）
行程
八時三十分　上組公民館発（車）
九時　糸崎駐車場発（徒歩）
探訪開始
十二時頃　探訪終了昼食
十三時頃　深町帰着予定（車）

私が如水館で得た物①

如水館高校三年　福島耕太

私は今、如水館高等学校の三年です。この三年間、自分は沢山のことをここ如水館で学びました。私がこの学校で経験してきたことは、一人で越えていくには上に乗っかってもびくともしないような壁にぶつかったりしたことです。そのたびに、先生方が助けてくださったり、友人と自分の如水館にこれまで通ってきたことが自信になっています。本当にこの三年間で良かったと思っています。

私は、如水館に入学する前は、自分の考えを人に伝えることが苦手でした。自分の意見を言うことで、人と意見がぶつかり合うことが嫌だったからです。

しかし、如水館に入学してからは、授業や部活動、学校行事などで、自分の考えを発表したり、人と協力したりする機会が多くありました。

最初は、自分の考えを発表することや、人と協力することに抵抗がありました。しかし、先生方や友人、先輩方のおかげで、自分の考えを発表することや、人と協力することに抵抗がなくなりました。

また、如水館では、学校行事や部活動などで、自分の考えを発表したり、人と協力したりすることが多くあります。

一番困難だったことは、三年間で私が一番成長したと思うことです。

第二中学校だより

ミュージカルでコーラス 一人一人が、がんばった

三原二中一年　柴田　采

ミュージカルで、みんながんばらないと、いいミュージカルにならないことが分かりました。

最初、コーラスって決まった時、私は、歌が上手くないから、大きな声で歌わなくてもいいと思っていました。でも、何回も練習していって、先生の話で、一人一人ができないところを直していき、大きな声で歌わないと、一人ができないよ」と言われて、私も、大きな声で歌わないと、みんなにめいわくをかけるなと思って、がんばって歌いました。

この学習活動で、みんなと協力することが成長したと思います。

歌うことが苦手だった人が、一人一人がんばって歌ったり、お腹に力を入れたり、大きく息を吸ったりいろいろなくふうをして歌いました。

歌うことがみんなで協力することになったことが、前よりも大きな声で歌わなくてもいいと、気づきました。

最初のように、上手くないから、歌わなくていいんだと思っていた人が、自分の声を出すことがはずかしいと思っていた人が、自分の声を出すことがはずかしいと思っていた人が、自分の声を出すことがはずかしい